

片岡 秀太郎 二代目

歌舞伎俳優

昭和 16 年 9 月大阪府出身。

十三世片岡仁左衛門の次男。昭和 21 年 10 月、本名の片岡彦人（よしひと）の名で京都南座「吉田屋」の禿で初舞台。

昭和 31 年 3 月二代目片岡秀太郎を襲名し名題昇進。

平成 9 年 3 月上方歌舞伎塾・主任講師に就任し同年 8 月「関西歌舞伎中之芝居」を主催。平成 14 年 8 月「平成若衆歌舞伎」を主催。

上方独特の型を伝える貴重な存在として活躍する女方で、上方歌舞伎を代表する役者として根強い人気を誇る。また一方では、後進の育成・上方歌舞伎の伝承や古典を新しい切り口で演出する等多方面で活躍している。

《受賞歴》

昭和 26 年	関西演劇ペンクラブ賞
昭和 62 年	国立劇場優秀賞
平成 5 年	国立劇場優秀賞
平成 9 年	十三夜会年間大賞
平成 11 年	第二十回松尾芸能賞 演劇優秀賞
平成 11 年	大阪芸術賞
平成 15 年	京都府文化賞 功労賞
平成 15 年	伝統文化ポラ賞 優秀賞
平成 26 年	大阪市民表彰
令和元年	重要無形文化財保持者認定
令和元年	京都市文化功労者表彰